

伊勢市地域審議会平成18年度第2回会議(4地区地域審議会合同開催)
会議概要

(合同会議)

- 1 開催日時 平成18年10月12日(木)午後7時～午後8時40分
- 2 開催場所 小俣図書館 ホール
- 3 会議内容 市長マニフェスト説明
市政についての報告
審議会への諮問

- 4 出席委員 別紙のとおり
- 5 欠席委員 別紙のとおり
- 6 出席職員 別紙のとおり
- 7 議事概要
 - (1) 市長マニフェスト説明 市長よりマニフェストの説明
 - (2) 市政についての報告 総合政策推進部長より財政収支見通し、行財政改革大綱実施計画、新市建設計画アクションプログラムについて説明。まちづくり推進課長よりコミュニティバス運行について説明。合併調整室長より庁舎等施設の有効利用について説明

 - (3) 審議会への諮問 市長から4地区地域審議会に諮問書の交付。諮問内容・諮問理由については、別紙のとおり。

休憩の後、各地区地域審議会において個別会議を開催

別紙

伊勢市地域審議会平成18年度第2回合同会議

出席者	<p>伊勢地区 石田美和委員、小川斌夫委員、垣崎まゆみ委員、櫻井治男委員、竜田和代委員、西山裕司委員、春木千富委員、前田世利子委員、松村富美雄委員、山本はるみ委員</p> <p>二見地区 奥野雅則委員、柏端長一委員、北井伸治委員、北岡孝敏委員、北村峰記委員、酒徳 孝委員、須崎京子委員、中村 恒委員、橋本清美委員、濱條幸久委員、濱千代利弘委員、松本誠委員、宮後朝訓委員、八木直己委員</p> <p>小俣地区 岩尾栄三委員、岩尾昇平委員、岩尾隆生委員、大北喜代壽委員、奥村節夫委員、越智晶俊委員、織家貞雄委員、楠畑忠雄委員、小林幸代委員、正住興彦委員、中川欣也委員、中西美知代委員、廣 政男委員、馬瀬洋子委員、松家孝司委員、宮本 清委員、吉田進一委員、山口友宏委員</p> <p>御園地区 一蝶哲司委員、浦崎恵子委員、大西勝洋委員、奥本一志委員、倉世古淳子委員、戸上米子委員、中北好美委員、中村 正委員、西村 正委員、西村雅弘委員、西脇英一委員、濱口繁一委員、平野あけみ委員、藤原ひろみ委員、宮本隆生委員、森真吾委員、山崎 力委員、山本健司委員</p>
欠席者	<p>伊勢地区 太田浩司委員、 奥田良平委員、奥野長衛委員 田村昭十郎委員、中村基記委員、西浜 隆委員 松月ひろ子委員、山崎 智委員</p> <p>二見地区 松本徳男委員</p> <p>小俣地区 藤村元美委員、村田恵子委員</p> <p>御園地区 中西 源委員、中村浩一委員</p>
出席職員	<p>市長、市理事（市町村合併担当兼財政健全化担当）、合併調整室長、総合政策推進部長、政策課長、まちづくり推進部長、まちづくり推進課長、二見総合支所長、二見総合支所地域振興課長、小俣総合支所長、小俣総合支所地域振興課長、御園総合支所長、御園総合支所地域振興課長ほか合併調整室、政策課及び各総合支所地域振興課の担当職員</p>

新市の一体感の醸成について（諮問）

〔諮問内容〕

市民が「自分たちで考え、自分たちでまちをつくっていく」という市民の意欲を生かすことができるまちを目指すため、次の視点からの新市の一体感の醸成について

- (1) 市民参画・市民活動支援
- (2) 分権型社会の構築
- (3) コミュニティの形成・地域振興

〔諮問理由〕

地方分権の進展により、自己決定・自己責任に基づく自治体運営が求められており、これまで以上に、行政を市民の意思に基づいて行う「市民のための自治体」を確立することが大切となっている。

また、地域や特定の分野に関する市民、NPO等の活動が活発化してきており、これら市民、NPO等の自立した活動と行政が協働することで、豊かな市民生活、生き生きとしたまちの実現が図られていくこととなる。

「市民自治」を実現するためには、これまでそれぞれの市町村で培われてきた仕組みやノウハウを集積し、また、それぞれの地域資源を新市の中で循環・結合させることで、一体感の醸成を早期に図り、新市における自治の仕組みづくりを進めていくことが求められている。

伊勢市地域審議会平成18年度第2回会議(4地区地域審議会合同開催)
会議概要

(御園地区地域審議会)

- 1 開催日時 平成18年10月12日(木)午後8時50分～午後21時55分
- 2 開催場所 小俣図書館 2階 ホール・研修室2
- 3 議事内容 会議の公開に関することについて
今後の地域審議会の運営について
- 4 出席委員 一蝶哲司委員、浦崎恵子委員、大西勝洋委員、奥本一志委員、
倉世古淳子委員、戸上米子委員、中北好美委員、中村 正委
員、西村 正委員、西村雅弘委員、西脇英一委員、濱口繁一
委員、平野あけみ委員、藤原ひろみ委員、宮本隆生委員、森
真吾委員、山崎 力委員、山本健司委員
- 5 欠席委員 中西 源委員、中村浩一委員
- 6 出席職員 総合支所長、地域振興課長、地域振興課主査
- 7 議事概要

(1) 会議の公開に関することについて

会長 最初に、審議会の会議の公開に関する事項についてお諮りをし
たい。事務局より説明をお願いしたい。

地域振興課長 (公開に関する要領 傍聴に関する要綱等を説明)

会長 全体的に問題がなければこれでよろしいか。

(全員賛成により可決)

(2) 今後の地域審議会の運営について

会長 続いて会議の運営について、事務局説明願いたい。

地域振興課長 先ほど森下市長から諮問いただきました「新市の一体
感の醸成」について今後ご審議いただき、まとめたものを文書で
答申いただきたい。

さて、「醸成」という言葉ですが雰囲気などを作り出すという意
味で、今回の場合それぞれの地域性を持った4市町村が合併をし
新市として一体感を感じるような気持ちを作り出すということ
になる。三つのテーマである(1)市民参画・市民活動支援
(2)分権型社会の構築(3)コミュニティの形成・地域振興で
あるが、これらは第1回目の地域審議会でお渡ししました新市建

設計画の中に謳われているので簡単にご説明したい。

(1)については、市民参画による行政運営を行うための会議の設置や市民の知恵を政策に生かせる体制づくり、市民活動等の整備、(2)については、市民と協働で自治体運営を行いやすい体制づくり、(3)については市民と行政、地域間の情報共有を高めコミュニティを中心とした市民参画体制の構築、市民の主体的な取り組みへの積極的な応援などが挙げられる。

この三つのテーマについては、それぞれ単独で考えるべきものではない。そのため次回の審議会において意見を出し合っていたいただき、それをたたき台に平成19年度の1・2回目の審議会で煮詰めていただき第3回目でまとめて市長に答申する予定である。審議にあたり資料等ご必要な場合は事前に申出てほしい。答申とは別に諮問以外の意見についても今後の審議会の内容や状況をみながら取り扱いについては会長と相談していきたい。

委員 たった2回でまとめるのか。

地域振興課長 まとめを入れると全部で4回である。

委員 新市建設計画(財政計画)における10年間の投資的経費780億円は確保されるのか。

総合支所長 新市建設計画における財政計画は、新市建設計画上の施策を計画的に実施していくため平成18年度からの10年間における財政計画を定めたものである。この計画は、平成11年度から平成15年度の決算数値を基本として平成16年度に策定したもので、今回の財政収支見通しについては、その後の社会経済情勢、三位一体改革等の地方財政制度の改正等を踏まえ、財政計画の前期5年間について、現時点での時点修正を加えた。修正作業に当たっては引き続き厳しい財政事情の中、財政の健全性の確保を念頭に、地方債残高を抑制するため基礎的財政収支(プライマリーバランス)の黒字化に特に留意した。そのため投資的経費の抑制を余儀なくされた結果となった。

ちなみに、前期5年間の投資的経費の合計は、約九十数億円、減額した計画となった。

委員 今回の諮問内容は、テーマが大きくて難しい。合併協議で決められたことの履行確認を行うのが自分達の役割だと思っていた。

委員 市長からの諮問に対して、答申下さいでは難しい。具体的な事例も出してほしい。

委員 このように大きい諮問テーマでは、きれいごとにはしか表せない。もっと生活に根ざした具体的な事案を審議し、今後、新市の一体感の醸成をどのようにについて議論していったらどうかと思う。

地域振興課長 事務局としては、いろいろな意見をお聞きしたい。その中で問題を見出していききたい。

委員 大きなことを答申しても意味がない。具体的な施策についても審議会として意見を具申すべきではないか。

総合支所長 事務局として、地域審議会委員の皆様をお願いしたいことは、地域審議会の役割として、一つは市長の諮問事項である「新市の一体感の醸成について」に対して答申をしていただくこと、もう一つは答申以外で地域審議会として意見を述べていただくことである。その旨をご理解いただきよろしくをお願いしたい。

副会長 今回の諮問内容については、会長と私は合併協議を進めていった中で十分理解している。審議会の中で勉強会を開催してもらってはどうか。財政状況が合併協議の時代より状況が悪くなっているのであれば、そのことについて勉強会の時間をとっていただく必要があるのではないか。市長の言う6つの柱の中に行財政改革も入れてもらわねばならないと思う。

委員 先ほどの、市長のマニフェストの説明の中で、市民病院に毎年4億5千万円繰出ししている話があったが、一般企業では人件費の削減も行い健全経営に努めているが。

副会長 市役所でも経営の中に内部の改革の見直しも必要である。

総合支所長 総人件費の削減ということで、行政改革大綱実施計画にもお示ししたとおり今後策定される定員適正化計画に基づく人員の適正化や時間外勤務手当の削減、給料表の適正運用等に取り組んでいく所存であるのでご理解の程宜しくをお願いしたい。

委員 次回の地域審議会ですべての委員が発言できるように、事務局からも具体的にご指示していただけると有難い。

会長 会議の予定時間も残り少なくなった。本日は会議の公開に関する事項と会議の運営が協議事項である。次回の審議会では各委員にお渡しさせていただいた資料を熟読していただき、有意義な意見を述べていただきたい。それではこれで第2回御園地区地域審議会を終了したい。

終了